

丸子夏期大学で講演（10月27日）

市村 到（4組）



去る10月27日（水）-当初は9月2日の予定がコロナ禍のために延期-信州上田丸子夏期大学で話す機会を与えられました。

期日は異なりますが、当イベントでの講師陣は松本大学学長で前松本市長の菅谷昭さん（60期）や大学教授などが殆どどなかで、単なる市井人（元小中学教師で現在農業）にすぎない私が講師として加えられたことがそもそも光栄の至りでした。これは、同期で旧丸子町最後の副町長の小山田秀士君（7組）からの運営委員会事務局への推薦があったことによります。

小山田君の呼びかけで数か月前に、ささやかな飲み会がありましたが、そもそものきっかけがその時の会話でした。

文献上では理解していても、依田窪地域のうち、木曾義仲が依田に滞在した頃にあった「依田ノ庄」の範囲の確認が私自身しっかり把握できていなかったことから、小山田君に頼んで、夏期大学の直前に現地を案内してもらいました。そして、当日は何とか「戦国の中央舞台で光彩を放った依田氏」のテーマの内容を果たすことができました。同君の支援には大いに感謝です。

講演の中身は拙書『戦国三代の記～真田昌幸と伍した芦田（依田）信蕃とその一族』と『戦国三代と天下人～芦田（依田）氏の軌跡から』（ともに悠光堂）によったものでしたが、今回は依田氏の発祥の地で本拠となった依田地域のある旧丸子町での開催ということで、序盤は依田地域に関わる内容を新たに取り上げました。その中で、丸子で旗揚げをした木曾義仲との関係や、現在の全国の依田氏が発祥の地を信州依田ノ庄と自認していること、その分布などにも言及しました。講演の内容概略は、小山田君が65期ホームページ（HP）で紹介してくれましたので、そちらをご覧ください。

なお、講演後、小山田君のほかに、小山壽一君（2組）、小宮山健一君（3）、手塚正君（5）、滝沢博俊君（7）、増澤賢一君（9）の65期諸氏が慰労会をもってくださいました。私にとっては、この上なく貴重でありがたいひとときでした。HPへの拙文寄稿を促してくださった上原昇君（2）をはじめ、関係の皆様すべてに大感謝です。

以上

（21年11月17日記）

